

北村智恵 ピアノ指導と演奏のための連続講座

全9回
講座

作品に見る

音楽におけるロマン主義

19世紀は、あらゆる芸術の世界で「新しいこと」が興った時代です。一般に、「ロマン主義」とは、18世紀末から19世紀前半にかけてヨーロッパで興った哲学や芸術上の、理念およびそれらの運動を指しますが、それまでの秩序や論理に反逆し、17世紀以来の、「古典主義」を否定することから生まれた、知性よりも情緒や感情を、理知よりも想像力を、形式よりも内容を重んじた理念とその運動でした。文学におけるシュトゥルム・ウント・ドランク（"Sturm und Drang" = 疾風怒涛運動）に端を発し、あらゆる芸術に広まったこの「ロマン主義」が、さて「音楽」においてはどのように生まれ展開していったのか、その具体例を、ベートーヴェン・シューベルト・シューマン・ショパンに至るそれぞれのポイントとなる作品の中で明確にしていく講座です。知っているつもりの作品が、より新鮮で意味のあるものとして本来の光を放つことと信じます。またまた目からウロコの講座になるかも知れません。

2026
3.27 FRI 開講

カワイ梅田 コンサートサロン “ジュエ”

大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル1階
TEL06-6345-8300 大阪駅・梅田駅より徒歩5~10分

募集概要

月1回/第4金曜日 予定
時 間 10:30~12:30
募集定員 50名(先着順)

受講料

- 分納 初回5講座 20,000円(税込)
第2回4講座 16,000円(税込)
- 全納 9講座 36,000円(税込)
(北村智恵作成資料楽譜等 自主教材費を含む)

テキスト

- ベートーヴェン バガテル op.126 (ヘンレ版)
 - シューベルト 楽興の時 op.94 (ヘンレ版)
即興曲集 op.90/op.142 (ヘンレ版)
 - シューマン 子どもの情景 op.15 (ヘンレ版)
 - ショパン ワルツ集 (全音エキエル版)
- ※すでにPWMエキエル版をお持ちの方はそれで結構です。

講師
北村智恵



音楽教育家・音楽学者。ピアノ指導、楽譜の監修・校訂、作・編曲、CDの楽曲解説やコンサートのプログラムノート・新聞・音楽雑誌への執筆等、長年に及ぶ。相愛大学在学中より三十数年にわたり故・佐藤允彦氏(ポーランド国家文化功労賞受賞、ショパン作品の研究に多大な功績を残した第一人者)に教えを受け、独自の研究を続け現在に至る。大阪府文化振興財団主催セミナーコンサートやショパン・ピアノ作品全曲レクチャーコンサート、独自のショパン・ピアノ作品連続講座の講師も長年務め好評を得る。ショパンに関する音楽雑誌への執筆も多く、「ショパンへの道」「ステップ・トゥバツハインヴェンション」(いずれも音楽之友社)はじめ、ピアノ曲集、書籍等、著書多数。とりわけ「プロの常識・ピアノを教えるための全10章」(音楽之友社)は、ピアノ指導者の「教科書」「バイブル」と評価されている。日本ショパン協会正会員。関西支部長、理事。

■お申し込み・お問合せ

大阪府高槻市松が丘2-7-22 tel:072-689-0727/fax:072-687-0314
e-mail:info@musicakobo.com/hp:musicakobo.com

主催:一般社団法人ムジカ工房 後援:ちえの輪倶楽部 協力:カワイ梅田

メールでのお申し込み

